




「省エネルギー学習会」					
会議年月日	28年1月8日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	流山市クリーンセンター
出席者	高橋、大前、難波、酒井、新美、山田、平手、斎藤、佐藤、笠原、小山、小熊、三木、大塚、佐藤岩井、 クリーンセンター所長他4名、環境政策係2名				
議 題					
第102回「省エネルギー学習会」を流山市クリーンセンターで開催した。					
1.流山市クリーンセンターから排出されるCO2について(事務局:春田)					
①人口増加に伴いCO2排出が増加傾向にある。					
②流山市公共施設(市庁舎、小中学校、公民館、水道局...)から排出するCO2の内、クリーンセンターが 全体の65%を排出している。平成25年度=約21,000トン-CO2。(一般家庭は約5トン-CO2)					
③クリーンセンターからの排出量を削減するには...					
a:可燃ごみにプラスチックを混入しない(プラスチック量で総排出量の90%が決まる)					
b:灯油の使用量を減らす(灯油量で総排出量の10%が決まる)					
④対応策は...					
a:市民=ゴミを減らす。キッチリ分別する。「プラ認定マーク付」は汚れを落とす。生ごみは水切りする。					
b:クリーンセンター=上手な操業でエネルギー(灯油、電気)を削減する。					
⑤課題					
・容器包装プラスチック類(プラ認定マーク付)で排出される物が汚れていると 可燃ゴミになってしまう 。					
・燃やさないごみとして排出される「その他プラスチック製品」の取扱が...					
* 市民に対して、「プラ混入率を下げる、生ごみは水切りする」の運動が必要!					
* 可燃ゴミ(プラ量)が10%削減出来れば、CO2排出が10%(2,000トン)削減となる。					
(3KW太陽光パネルを設置すると約2トンのCO2が削減できるので1,000台設置に相当する: 効果大)					
2.クリーンセンター見学(主に選別工程、焼却施設、リサイクル工程。)					
3.質疑応答					
前もって提出した質問に対して丁寧に回答頂いた。(理解できない内容も多少あったが...)					
* 市民としてゴミに対する意識・知識が欠けている面があった。					
					
<次回予定> 平成28年2月6日(金)13:30~15:30 流山市生涯学習センター(3F)大会議室					
テーマ:未定(別途ご案内) 以上					